

平成29年度事業報告書

平成29年7月1日から 平成30年3月31日まで

真田の郷まちづくり推進会議

1 事業の成果

真田の郷まちづくり推進会議（以下推進会議という）が、上田市真田地域において発足させていただき初の事業年度切り替えを迎えます。真田まちづくり準備会において委員さんの誠心誠意ご検討いただいた結果、これからも作り上げていく組織ということで設立後は組織体制および事務機能整備ということで組織基盤整備を中心に行ってまいりました。主としては事務機器の購入や住民活動拠点事務所の検討を行ってきており、本原地域の旧設計事務所デプロさんだった物件をお借りし住民活動の拠点として今後は地域を語る場として多様な活用を見込みたいと思います。

まちづくり計画の策定に向けては大きな進捗への着手がありませんでしたが、平成29年12月3日銀座NAGANOにおいて「信州真田の郷タウンミーティング」を実施し真田地域の活動者と東京学芸大学附属国際中等教育校の生徒さんはじめ東京からの参加者も含めて真田地域を語るワークショップを実施しました。将来的に人口減の社会においては多くの関係性が地域維持には欠かせません。そのような中でまちづくり計画の策定にむけた一步を実施できました。また、平成30年2月24日には「真田の郷タウンミーティング」を真田地区福祉センターにて実施し地域内外の方と地域課題についてディスカッションを行いました。これは規約に定める住民懇談会でもありこの意見は今後の活動に活かしてまいりたいと存じます。

また、来年度以降の事業ほか地域活動への力として地域外の力と連動できるよう組織内外の人材を育成できるよう活動を行ってまいりました。地域をあるく「ぶら真田」ではあらためて地域の魅力を再発見する機会でもありこのような活動は継続して行いたいと考えます。

加えて地域を応援してくれる地域外の方や人的交流によるイベントや地域活動への助言や活動の機会をいただき、地域創生イベント「まちてん」への出展や有識者などの来訪や他のまちづくり団体の視察の受け入れなど初年度より地域活動へのヒントをいただいております。このような他地域と人をつなぎ相互に助け合う関係のリレーションは持続可能な地域づくりの力になったと感じます。このような活動は長野県テントシート装飾工業組合より当会の活動を通じて住民活動の為にテントを寄贈いただくなど企業や団体の支援が活動の力になればと思います。来年度もこの推進会議が住民の活動支援の場としてのプラットフォームとして、住民とともに地域を考えてまいります。

2 事業の実施に関する事項

(1) 非営利事業

事業名 (規約に記載した事業)	具体的な事業内容	事業費の金額 (単位：千円)
組織基盤整備	拠点事務所の設置 事務用品(消耗品・備品) 広報紙発行(さなぎしんぶん) Facebook ページ作成 人件費(役員手当・事務局職員給与)	4,260千円
地域まちづくり計画の策定	タウンミーティングの実施 ・信州『真田の郷』ミーティング(銀座 NAGANO) ・真田の郷タウンミーティング(真田福祉センター)	325千円
人材育成事業	ぶら真田の実施 人材交流 地方創生・小さな拠点学校参加 まちてん出展	86千円
地域づくり活動支援	地域イベントへの活動協力 イベント共催(チラシ作成・配布) 貸し出し用テント購入	328千円

(2) その他の事業 (非営利活動に係る事業以外の事業)

事業名	具体的な事業内容	事業費の金額 (単位：千円)
実施なし	実施なし	0円

合計	4,999千円
----	---------